

平成23年第7回黒部市議会12月定例会
一般質問（代表・個人）通告要旨

■一般質問（代表）

| 質問順 | 会 派 名 質 問 議 員 | 質 問 事 項 | 答 弁 者 |
|-----|------------------|--|--|
| 1 | 英の会 伊 東 景 治 | <p>1 平成24年度の予算編成と財政運営について</p> <p>(1) 予算編成の基本的な考え方について、とくに県や国への要望活動もしっかりやってこられたと思うが、平成24年度の国や県の方針をどのように受け止め平成25年度予算編成に活かしていくのか</p> <p>(2) 予算編成における財政見通しについて、世界の経済、金融関係が怪しく先行きが不透明な経済環境の中、平成24年度の歳入の見通しは、どのようになると考えているか</p> <p>(3) 財政健全化への取り組みについて。新幹線関連の事業、消防庁舎建設、新庁舎建設、病院の大改修等大型事業が盛りだくさんの中、平成27年度には財政健全化の指標である実質公債費比率を18%以下となるよう取り組むとあるが、実際は相当難しいのではないかと</p> | 市 長 |
| | | <p>2 総合振興計画の前期計画の評価と後期計画策定について</p> <p>(1) 市民アンケート調査の目的は何か、このアンケートから前期基本計画により実施した事業施策の評価について、どのように検証されたのか</p> <p>(2) 市内4カ所で行われたタウンミーティングは、「後期振興計画の策定に向けて」がテーマであった。参加者の意見、感想などに対して市長はどのような感想を持ったか。後期計画に参考となる内容があったか</p> <p>(3) 現在、高齢者福祉計画と障害者福祉計画について平成24年度からの3ヶ年計画の策定に向け委員会で検討されているが、総合振興計画の前期基本計画における高齢者や障害者福祉に対する実績評価と、平成24年度からの3ヶ年計画への基本的な考え方については</p> <p>(4) 県東部消防広域化は1市2町で正式合意したが、後期基本計画にどのように組み込まれるのか。2014年の消防本部統合に向けての市長の考えと意気込みは</p> <p>(5) 自然エネルギーの利活用について、産業振興という点から後期基本計画ではどのように進めるのか</p> | 総務企画部長 市 長 市 長 市 長 市 長 |
| | | <p>3 北陸新幹線開業に向けて</p> <p>(1) 富山地方鉄道の電鉄黒部駅の名前は、過去に変更されて現在に至っていると聞いている。現在の「電鉄黒部」はどのような経緯で駅名が変更されたのか</p> | 都市建設部長 |

| | | | |
|---|-------------|---|--|
| | | <p>(2) 新幹線、地方鉄道、在来線の駅名について検討してみてもどうか。特に、現在の電鉄黒部駅については、3鉄道3線との関係で是非検討をしたらどうか。由緒ある「桜井」という駅名についてどう考えるか</p> <p>(3) 新幹線駅中あるいは隣接施設である、地域観光ギャラリーや交流プラザ等における商業施設やサービス事業の内容やそれらの扱い業者はどのように選定していくのか</p> <p>(4) 市民アンケートでは新幹線駅周辺等での新市街地の整備について、多くの要望があった。黒部市の街づくりの全体計画の中でどのように位置付けていくのか。後期基本計画の中でも検討するのか</p> | 市長 |
| | | 市長 | 市長 |
| | | 市長 | 市長 |
| 2 | 新樹会 川本敏和 | <p>1 平成24年度予算編成方針の基本的な考え方について</p> <p>(1) 超円高や先行きが悪化の見通しの経済界、市の歳入見通しは</p> <p>(2) 財政の健全化判断比率の実質公債費比率は前年度より改善されたが、早期健全化基準に近い数値にある。来年度の改善比率数値は</p> <p>(3) 平成24年度の柱となる政策は</p> <p>(4) 後期振興計画に向けてのタウンミーティングの開催で市民の意見は何か。また、その意見をどう反映していくのか</p> | 市長 |
| | | <p>2 高齢化社会と商店の果たす役割について</p> <p>(1) 市内の集落等から食料品店や日常雑貨店等生活に密着した店舗が無くなり、高齢者などの買い物に困難な状況に置かれている方々(買い物弱者)が発生している。その対策はとられているのか</p> <p>(2) 野菜の直売所や商品宅配サービス、移動販売は地域住民の生活に必要不可欠になっている一方、採算性の確保が課題である。継続的に行うため市の支援が必要では</p> <p>(3) 市民に好評のプレミアム付きマチヂカラ商品券は昨年の倍にあたる1億円が約1週間で完売されたがその成果と課題は</p> <p>(4) 市内の中小企業は昨年より採算性が-30%台で依然厳しい経営状況である。来年度のマチヂカラ商品券のプレミアム分を市が全額負担してはどうか</p> <p>(5) 地域経済及び商店街と各業種組合の活性化を図るため、プレミアム付き商品券やPRチラシを発行する団体や組合に対し補助金の交付を行ってはどうか</p> | 市民生活部長 産業経済部長 市長 産業経済部長 市長 市長 |
| | | <p>3 子ども・若者を取り巻く環境整備と支援について</p> <p>(1) 小中学校に於ける不登校や引きこもりの現状は。また、その対策は</p> | 教育長 |
| | | | |

| | | | |
|---|---------------|--|---|
| | | <p>(2) 子どもや親への相談体制の充実を図るため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門的人材が配置されているが、その相談内容は</p> <p>(3) 要保護児童の適切な保護を図るため、黒部市要保護児童対策連絡協議会がある。その協議内容は</p> <p>(4) 新しい学習指導要領では「生きる力」をより一層育む事を目指しているが具体的にはどう取り組まれているか</p> <p>(5) バブル崩壊による雇用悪化や学生時代に人間関係を築くことが苦手だった若者がフリーターやニート増につながったと言われているが、その対策や支援はあるのか</p> <p>(6) 様々な事情から家庭教育の低下と社会情勢の変貌による地域コミュニティの希薄化が子ども・若者に影響を与えていると考えるが、その政策はあるか</p> <p>(7) 幼稚園・保育所等と小中学校が連携し郷土芸能等の地域活動を通じ、年代を超えた人間関係を構築してはどうか</p> | <p>教育長</p> <p>市民生活部長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> |
| 3 | 日本共産党 谷口弘義 | <p>1 消防の広域化について</p> <p>(1) 1市2町で消防の広域化の協議に入ることになった。一部事務組合方式では、指令本部機能を確立するには、通信指令員の専任化を含め13名の職員の増員が必要になる。人件費、資機材等の費用については、1市2町で応分の負担が原則と思うがどうか。また現在建設中の新消防庁舎に、1億5,172万5,000円の高機能消防指令システムが設置されることになっている。1型で10万人規模に対応できる指令台であり、導入に対しての費用、指令台のアナログからデジタル化等の費用等についても、1市2町で応分の負担が原則と思うがどうか</p> <p>(2) 災害から住民の命を守ることは当然のことだ。生地、石田、村椿地区は海拔がきわめて低い。東日本大震災の津波は多くの命を奪った。台風12号の災害も広域にわたるものだ。新聞報道で市長は「日々の消防業務の適正規模は、大災害の対応と分けて考えるべき」と述べている。そのような考えで安心・安全な黒部市が作れるのか</p> <p>(3) 今後協議が進められていくが、協議内容をすべて議会、住民に公開すべきと思うがどうか</p> | 市長 |
| | | <p>2 環太平洋経済連携協定（TPP）と消費税の税率アップについて</p> <p>(1) これまでTPP参加で、農業が大きな影響を受けることを述べてきた。黒部市では農業産出額の7割が減少し、本市の食糧自給率が84%から大きく下がると答弁されている。いま予測される影響で黒部の農業はどうなるのか。市としてとれる対策は何なのか</p> | 市長 |

| | | | |
|--|--|---|--------|
| | | <p>(2) TPPの参加によって農林水産業と関連産業、地域経済の崩壊が起き農林漁業が果たしている国土・環境の維持、水源の涵養、生物の多様性などの多面的機能も崩壊し、地方も国土も荒れ果ててしまうと思うがどうか。黒部市の農林水産業と関連産業への影響はどうか</p> <p>(3) TPPに参加で医薬品が対象となれば、公的医療保険制度も対象となり、保険適用の診療と適用外の自由診療を組み合わせた「混合診療」の解禁につながり、お金のある人、ない人で受けられる医療の差別化につながり、市民にも影響が出ると思うがどうか</p> <p>(4) TPPの参加で恩恵を受けるのは自動車、電気などの一部の大企業だけで、農業と食料、地域経済と雇用、国民生活は犠牲だけが強いられることになる。政府にTPP交渉に参加しないよう求めるべきと思うがどうか</p> <p>(5) 消費税を10%にすることは、住民にこれまでの生活を5%削れということになる。不況が長引き、住民が苦しんでいるときに消費税を10%にすべきではない。消費税が10%になると本市への影響、住民への影響をどのように考えているのか</p> | |
| | | <p>3 公衆浴場の廃止とその後の対策について</p> <p>(1) 今年の11月に生地地区の公衆浴場が廃止され、一軒もなくなった。住民からは「車もなく思うように風呂にも行けない。何とかならないのか」と対策を求めている。市としてこうした「風呂難民」の住民の皆さんに何か対策を取る必要があると考えるがどうか</p> <p>(2) 生地地区から比較的近いところの公衆浴場に行くにしても、交通の便が悪い。生地地区から大布施の黒部市福祉センターのバスが無料運行されているが、帰りの時間を考慮したら気軽に利用できると思うがどうか</p> <p>(3) ふれあい入浴券について、これまで使うことの出来ない地域でタクシー利用等の対策など求めてきた。ふれあい入浴券の利用状況はどうか。利用者を増やす対策が必要と思うがどうか</p> <p>(4) 市内にある公衆浴場が存続することが望ましいが、今回のように無くなったときの対策をどのように考えているか</p> | 市民生活部長 |
| | | <p>4 グリーンパークおおしま（キャンプ場）の松枯れ対策と、パークゴルフ場のトイレの改善について</p> <p>(1) 黒部市グリーンパークおおしま（キャンプ場）の松は何本で、松食い虫の被害木は何本か。抜本対策を取るには何が必要か</p> <p>(2) 本市においては、何月頃までの対策をとれば効果があるのか。</p> | 産業経済部長 |

| | | | |
|---|------------|---|----|
| | | <p>(3) 松食い虫対策として平成22年12月議会で、「樹幹注入を定期的に行う。枯れてしまった松については伐倒処理を行う」と答弁されていたが、樹幹注入は何本処理されたのか、何本伐倒処理をされたのか。被害木全部の処理は終わったのか</p> <p>(4) 本年9月議会で、おおしまキャンプ場の松食い虫樹幹注入委託料として451万円の補正予算を組んで、140本処置することになっているが、いつまで終える予定か</p> <p>(5) パークゴルフ場の河川敷にあるトイレは男女共用であり、使い勝手が悪い。適切な場所への移設と男性用、女性用と分かれたトイレ設置の願いに応えられないか</p> | |
| 4 | 会派清流くろべ川上浩 | <p>1 平成24年度予算編成方針について</p> <p>(1) 総合振興計画後期計画(H25～H29)の見直し年に当たるが、重点事業と決算特別委員会の審査報告で指摘のあった生活に密着した事業予算(地区要望、社会資本ストックの補修・更新など)へ平成24年度予算では具体策にどのように配分を考慮するのか</p> <p>(2) 東日本大震災を受け、後追いながら防災対策に取り組んできているが、新年度から計画的な防災対策への取り組みについてどのように考えているのか</p> <p>(3) 平成24年度から第5次介護保険事業計画がスタートするが、負担とサービスの均衡を図りながら、どのように居宅、施設介護サービスの充実を図るのか</p> <p>(4) 子ども手当が児童手当に戻り、児童扶養控除が廃止されたままでは子育て世代の戸惑いは否めない。医療費無償化の拡大による子育て支援策の拡充を検討できないか</p> <p>(5) にわかには噴出したTPP交渉参加表明により、いっそう農業への不安が募っている。先日、生産数量目標の提示があったが、麦、大豆、米粉、飼料米、特産物などを含めた転作についてどのように取り組むのか</p> <p>(6) 今年は、観光産業が大震災による風評被害などにより、大きく後退した。今年で不均一課税期限が切れるが、平成25年は開湯90周年、平成27年3月新幹線開業も迫ってくる観光振興のビッグチャンスに向け、再延長など支援体制をどのように考えているのか</p> <p>(7) 有害鳥獣対策による電気柵設置によって、被害が大幅に減ったと言う声が寄せられている。また地域住民の協力により里山整備も進んでいる。今後の継続と恒久的な電気柵設置に取り組むべきではないか</p> | 市長 |

| | | | |
|--|--|--|----|
| | | <p>2 並行在来線運営について</p> <p>(1) 並行在来線を運営する準備会社がH24夏ごろまでに設立と聞く。並行在来線に関する情報は未確定部分も多く、断片的な情報しか流れていないが、これまでの経過をどのように整理しているのか</p> <p>(2) 今般、出資比率の案が提示されたが、どのように検討されたものなのか。また出資総額は、どのように算定されるのか</p> <p>(3) 運営以降後、赤字経営と予想されているが、そのための基金を積むと聞くが、どのように、いくらぐらい積み増すのか。また各市町村はその財源をどのように生み出していくのか</p> <p>(4) 運行会社には、特殊技能をもった社員も必要であり、そのための養成期間も必要と考えるが、その他にも多くの課題が残されていると思うが、実際に運行するため、開業までに残されている課題は何かあるのか</p> | 市長 |
|--|--|--|----|

■一般質問（個人）

| | | | |
|---|------|---|--------|
| 1 | 中村裕一 | <p>1 地震津波対策について</p> <p>(1) 県の有識者が富山湾の大津波の可能性を指摘している。市においても9月議会で夜間の反射式避難場所表示看板や電柱表示看板の設置を考えていると聞いた。しかし、海岸に面した石田、生地、村椿地区の避難場所のシュミレーションはできているか。高齢者や身体弱者を考慮した時、民間の施設の利用も考えるべきではないか</p> <p>(2) 地震に対する訓練は市内の保育所、こども園、幼稚園それぞれに計画され訓練が行われていると思う。しかし、津波や高波に対する対応はどうだろうか。まだ歩行も満足にできない乳幼児を含めた園児たちを安全に避難させるにはどのような対応をとるのか</p> <p>(3) 10月、宮城県と岩手県の被災地を視察した。「釜石の奇跡」と呼ばれた事実と防災教育の徹底に感銘を受けた。海岸から500mの釜石中学校と近くの小学校570名が地震発生と同時に迅速に適確に避難したのである。日頃からの訓練と昔から語り継がれた津波の恐ろしさが強く心に根付いているのである。市でも小、中学校の避難訓練の徹底とともに、過去の災害の歴史も学ぶことが大切と考えるが如何か</p> | 市長 |
| | | <p>2 水資源について</p> <p>(1) 市では貴重な水を無駄にしないよう、上水道の水道管の漏水調査を行っている。水道管設置の年月により、老朽化したものから順次調査が行われていると思うが、その漏水率と有収率はどれくらいか</p> | 上下水道部長 |

| | | | |
|---|------|--|--------|
| | | (2) 消雪装置の進む県内で、昨冬の大雪で大量の地下水が汲み上げられ、水位が急激に低下していた地区もあったと報じられている。本市の地下水位は安全水位であったか | 市民生活部長 |
| | | 3 子供の安全について | |
| | | (1) 福島第一原発の事故を機に放射線への関心が高まっている。この災害前までは多くの人は放射線に対する認識は少なかったと思うが、今では、子供たちも危惧を抱いている。小、中学校においては年齢に応じた放射線の正しい知識を指導する必要がある。市では今後どのような取り組みをするのか | 市長 |
| | | (2) 児童生徒の通学に対して、学校地域保護者等、安全パトロール隊を組織され鋭意安全対策に努めている。しかし、下校時、中学生等が部活動を終え下校する際、家や照明の少ない通学路が多くある。防犯灯や遮断機など安全対策が十分に確保されているのか | 教育長 |
| | | (3) 去る11月26日、射水市において中学校2年生の男子生徒が自ら命を絶つという痛ましい事故があった。いじめの問題は波のうねりのように後を絶つことなく続いている。文部科学省においても一人ひとりの児童生徒のきめ細かな指導と生きる力を育む指導にいろいろと配慮されていると聞くが、本市においてどのように取り組まれているのか。また、いじめや不登校についてはどうなのか | 教育長 |
| 2 | 村井洋子 | 1 「命の教育」と「いじめ撲滅対策」について | 教育長 |
| | | (1) 市内小中学校に配置されているスクールカウンセラーはどのような人材か | |
| | | (2) いじめで複数回の相談があったとき、加害生徒が分かっている場合は加害生徒への指導はどのように行うのか | |
| | | (3) 中学校生徒会では「いじめ撲滅対策」等の話し合いや考える機会は設けられているか | |
| | | (4) 県において「悩みを抱えた子どもの窓口になるよう相談電話等の紹介カードを新たに作成し、小中高生に配付する」とあるが、相談電話はどういうものか | |
| | | (5) 「命の教育」はどのように行われているか。また「弱者・ハンディを持つ人たち」への理解、思いやり教育は啓発されているのか | |
| | | 2 発達障害の子どもたちへの取り組みについて | 市民生活部長 |
| | | (1) 発達障害の診断は誰がどのように行うのか。専門家はいるのか | |
| | | (2) 診断された時の親へのケアはなされているか | |

| | | | |
|---|------|--|-----------------------------------|
| | | (3) 最終的には富山市の通所センターまで通わなければならないのか。せめて新川地区にあれば親子の負担は軽くなると思うが | |
| 3 | 橋本文一 | 1 並行在来線と地鉄電車について (1) 県東部の5市町の議会による並行在来線に関する正副委員長会議が開かれ、各議会が12月議会で3項目意見書の可決を目指すことで一致した。意見書の内容は、現行のサービスを低下させない、各自治体の負担を重くしない、県境をまたぐ一体的な運行を求めるというものである。市長は意見書をどのように受け止め、どのような行動を行うのか (2) 市内には、石田駅から宇奈月温泉駅まで15の地鉄電車の駅がある並行在来線と、地鉄電車の相互乗り入れが沿線の活性化につながる。市長は並行在来線と地鉄電車の相互乗り入れを求めていくと述べていた。現在、どのような協議が行われているのか (3) 地鉄電車の駅のトイレは、地鉄利用者の施設だけにとらえず公共性の視点に立ち、地鉄と協議の上、整備を行うべきである。特に電鉄黒部駅・東三日市駅のトイレは、早急に整備を行うべきと思うが、どうか | 市長 |
| | | 2 子育て支援について (1) 経済的な負担を軽減する手立ての一つとして、県下の各市町でも子どもの医療費無料化の拡充を行っているが、黒部市では小学生6年生まで医療費が無料である。医療費無料化の対象を義務教育修了まで広げるべきだと考えるが、どうか (2) 冬場に流行し、激しい下痢やおう吐を引き起こす「ロタウイルス」は、胃腸炎の主な原因で、幼い子どもではノロウイルスよりも重症化しやすく、脱水や脳症を起こして、まれに死亡することもあると聞く。「ロタウイルス」の予防方法について伺う (3) 「ロタウイルス」のワクチン接種が11月21日から全国で始まった。生後6週から24週にかけて2回、口から飲ませて行うワクチンだと聞くが、2回のワクチン接種でおよそ3万円かかるとのことである。どうなのか。接種費用が自己負担となる任意接種では、子供の健康が保護者の所得の格差で左右されることになる。ワクチンの接種費用を公費で賄う「定期接種」に組み入れるよう国に求めていくべきと思うが、どうか | 市長 病院長 市民生活部長 市長 |

| | | | |
|---|-------|--|--|
| | | <p>3 国民健康保険税の引き下げ、ジェネリック医薬品の使用拡大について</p> <p>(1) 医療費や国民健康保険税の負担が命と生活を脅かすものになっている。黒部市は2009年国民健康保険税を一世帯平均で3万3,000円、25.6%引き上げた。国保会計は、2009年度では1億1,000万円以上の黒字となり、2010年度では2億700万円の黒字となっているが、住民からは国民健康保険税の引き下げを求める声が非常に多い。引き下げの要望に応えるべきではないか</p> <p>(2) 市は保険税を引き上げるときに、市長は、各地域での説明会で、市独自の保健事業を強化し、国保加入者へ引き上げ等の還元としたいと言っていた。国保税の引き上げが市独自の保健事業の強化につながったのか</p> <p>(3) 国民健康保険には、傷病手当制度、出産手当制度はないが、市独自の事業として出産手当制度を求める声がある。そのための試算をおこない、市独自の事業として進めていくべきではないか</p> <p>(4) ジェネリック医薬品の使用拡大が進めば、患者負担の軽減と国保会計の負担軽減、病院経営にも役立つと述べてきた。市民病院での、ジェネリック医薬品の使用割合はどこまで前進しているのか。今後、使用割合拡大への目標値はあるのか</p> | <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>病院事務局長</p> |
| 4 | 辻 靖 雄 | <p>1 消防力の強化について</p> <p>(1) 消防力とは何か</p> <p>(2) 新消防庁舎の高機能指令システム設備の役割は</p> <p>(3) 女性職員の採用と今後の増員計画は</p> <p>(4) 女性団員の拡充と予防活動は</p> <p>(5) 各分団員の高齢化と定員割れ対策は</p> <p>(6) 愛本地区と東布施地区の支援団員の強化を</p> <p>(7) 市職員の消防団員加入は</p> <p>(8) 1市2町の広域消防の効果と課題は</p> <p>2 中小零細企業の経営支援について</p> <p>(1) いわゆる2012年問題に対する本市の取り組みは</p> <p>(2) 宇奈月町商工会の解散への経緯と今後は</p> <p>(3) 資金繰りに悩む中小零細企業に利子補給を</p> | <p>消防長</p> <p>消防長</p> <p>消防長</p> <p>消防長</p> <p>消防長</p> <p>消防長</p> <p>消防長</p> <p>市 長</p> <p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>市 長</p> |

| | | | |
|---|---------|---|------------------------------------|
| | | 3 教育の目的について (1) 英会話教育の効果と成果は (2) 中学3年における三者会談(先生・生徒・保護者)の実情と目的は (3) 来年度からの中学校の新指導要領の取り組みは (4) スクールミーティングの意義と継続は | 教育長 教育長 教育長 市 長 |
| 5 | 小 柳 勇 人 | 1 総合振興計画 後期計画の策定について (1) 現在の進捗状況と策定方法、今後のスケジュールは (2) これまでの計画と後期計画について見直しはあるのか。あるとすれば、どのような事柄が変更される可能性があるのか (3) 総合振興計画の後期計画を遂行するための財源は (4) 合併特例債、臨時財政対策債も有利な起債といわれるが、起債である以上借金に変わらない。後期計画策定に関してどのような影響があるのか。 (5) 着実な遂行のため、必要があれば目的をはっきりした新たな市民負担を求めることも必要かと考えるが、当局の考えは | 総務企画部長 市 長 市 長 市 長 市 長 |
| | | 2 市民の幸福度向上について (1) 経済的指標で測れない幸福度向上についてどのように考えるか。 (2) 市民が満足度を感じる黒部市にするには市民一人ひとりの市政参画が重要と考える。市民参画向上の振興策はどのように考えているのか | 市 長 |
| | | 3 害虫対策について (1) 今年のカメムシの被害状況は (2) カメムシ対策について抜本的な対策がないと言われる中、駆除など対策研究が必要だと感じるが当局の考えは | 市民生活部長 市 長 |
| 6 | 山 田 ・ 二 | 1 黒部市消防団について (1) 女性消防団としての年間の取り組み数は (2) 女性消防団の処遇の改善を (3) 近隣市町の消防団員定年年齢の状況は (4) 幹部団員の年齢制限の撤廃の改正に期待することは | 消防長 市 長 消防長 市 長 |

| | | | |
|---|------|---|------------------------|
| | | 2 中心市街地活性化について (1) 「黒部市特定商業地域新規出店支援事業」の利用件数は (2) 本事業に今後期待することは (3) 市民ニーズの受け入れられる、行政サービス機能の一部を共同店舗(メルシー)に開放しては | 産業経済部長 産業経済部長 市長 |
| 7 | 寺田仁嗣 | 1 6次産業化について (1) 黒部市では農商工連携商品が商品化されているが、6次産業化についてはどのような考えを持っているか。また黒部市のこれからの取り組みは (2) 農業の自由化の波が押し寄せることが予想される現在、自立できる農業者を育てるために農産物に新たな付加価値をつけてブランド化すれば地域おこしにつながると思うが | 市長 産業経済部長 産業経済部長 |
| | | 2 小中学校における諸課題について (1) 学校における地域の防災拠点として、最小限の整備が必要と思うが (2) 当市における子供の体力の実態はどうか。また、体力向上のためにも学校施設に芝生化のモデル校を試みてはどうか (3) 学校におけるいじめの実態とその取り組みは | 市長 教育長 教育長 |
| | | 3 新幹線駅周辺における整備について (1) 東口広場の歩道部と車道部に消雪用井戸工事が計画されているが、駐車場についてはどのように考えられているか (2) 地鉄新駅の駅前広場等はどうなるのか (3) 新幹線と高速道路の狭間地にある従来の側道はどうなるのか。(従来通りか) | 都市建設部長 |
| | | 4 組織と提言箱(市民の声)について (1) 市の組織に食育担当部署や、再生エネルギーや節電省エネを含めた担当部署を設置したらどうか (2) 提言箱(市民の声)の活用実態は | 総務企画部長 |